

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号
公益財団法人 国際文化カレッジ
理事長 品川 恵保

令和7年度事業報告

1 令和7年度事業報告

I 公1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

[1] 各事業（公1-1～公1-4）の連携

当年度は、公1の事業全体の連携を図るために、写真関連事業を連動させた案内や美術品鑑賞鑑定入門講座と日美展・軽井沢千住博美術館を連動させた案内を行うなど、各事業（公1-1～公1-4）の連携、連動を図った。

[2] 公1-1：通信教育

定款第4条(事業)第1項第(1)号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、事業運営を行った。通信教育講座の普及活動における当年度の受講生(入学者)総数は、611人であった。

通信教育講座について

1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、当年度の入学者数は180人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年 度 間 の 異 動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合 計)	134	180	81	120	113
家庭園芸講座	34	56	14	45	31
自動車講座	23	36	20	19	20
総合盆栽講座	0	0	0	0	0
造園講座	0	0	0	0	0
オートバイ講座	0	0	0	0	0
ハイキングとカメラ技法講座	0	0	0	0	0
庭木と果樹の手入れ講座	6	6	6	3	3
庭の工作物手作り講座	0	0	0	0	0
写真作品創作塾	23	20	9	14	20
植物医講座	26	22	3	22	23
庭師入門講座	12	14	12	5	9
美術品鑑賞鑑定入門	10	26	17	12	7

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群は、当年度の入学者数は431人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初 受講者数	年 度 間 の 異 動			年度末 受講者数
		入学者数	中退者数	修了者数	
(合 計)	377	431	208	265	335
レタリング講座	61	39	34	8	58
A. 実践ボールペン字	30	93	48	49	26
C. トラブル対応力でチャンスに変える	8	13	9	7	5
D. コーチングで人を動かす	19	45	22	26	16
E. 説得力・交渉力を行使する	11	21	8	14	10
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	28	36	11	28	25
G. アサーション表現力で魅了する	29	10	7	8	24
I. 問題解決能力で現状を打破する	11	7	2	6	10
J. リーダーシップを発揮する	21	19	7	15	18
K. 論理的思考で実現させる	6	6	6	1	5
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	19	7	5	5	16
M. プレゼンテーションで成功する	10	5	4	2	9
N. 心理学でビジネスの成果を生む	30	12	6	8	28
O. 図解思考がクリアにする	22	5	6	1	20
P. 情報を成果に育てる	1	6	2	4	1
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	1	4	1	3	1
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	49	32	1	33	47
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	4	1	2	1
T. 誰もが納得、数字の力	2	7	5	3	1
U. 実効性のあるキャリアデザイン	1	3	1	2	1
V. 新・人間関係のビタミン	6	4	3	3	4
W. 強いビジネス組織をつくる	2	4	3	2	1
X. コンサル型ビジネスの達人になる	1	4	1	3	1
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	9	45	15	32	7

2. 普及活動について

通信教育の内容に適合した各業態等への団体採用働きかけなどを行った他、自動車講座や家庭園芸講座などでは、矯正施設における教育目的としての団体採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。写真作品創作塾については、総合写真展（公 1-3）およびフォトマスター検定事業（公 1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動も行った。文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においても、これらを採用する企業や地方公共団体などへの団体採用働きかけなどを行った。なお、公 1-1：通信教育については、令和 10 年をもって事業を廃止する予定であるが、添削期間を考慮して令和 8 年 2 月末日をもって新規の募集を停止した。

3. 学習指導

学習指導における学習指導者(専門家)および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問(質疑応答)に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計2名 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／ (株)花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計2名 (株)花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 専門学校 読売自動車大学校専任教 員：1名／ 三井住友海上火災保険(株)アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ 技法講座	計3名 写真家：1名／ 国立科学博物館附属自然教育園名誉研究員：2名	事務局職員 1名
庭木と果樹の手入れ 講座	計3名 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り 講座	計2名 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名
写真作品創作塾	計3名 写真家：3名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定 入門講座	計3名 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 元愛知県陶磁美術館館長補佐：1名	事務局職員 1名
文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者の変更について 自動車講座の学習指導者1名減		

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

講 座 名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計 2 名 レタリング技能検定中央試験委員：2 名	事務局職員 1 名
実践ボールペン字講座	計 2 名 大東文化大学日本文学科卒・硬筆・毛筆書家： 1 名/法政大学文学部書道科履修・硬筆・毛 筆書家：1 名	事務局職員 1 名
トラブル対応力でチャンスに変える／ コーチングで人を動かす／説得力・交渉 力を行使する／コミュニケーションで 自信と信頼を得る／アサーション表現 力で魅了する／問題解決能力で表現を 打破する／リーダーシップを発揮する ／論理的思考で実現させる／発想力・創 造力でビジョンを練り上げる／プレゼ ンテーションで成功する／心理学でビ ジネスの成果を生む／図解思考がクリ アにする／情報を成果に育てる／思わ ず誰かに話したくなるビジネス雑学／ 眠っている 9 割を刺激する脳の活性化法 ／誰でもできる時間の超活用法／誰も が納得、数字の力／実効性のあるキャリ アデザイン／新・人間関係のビタミン／ 強いビジネス組織をつくる／コンサル 型ビジネスの達人になる／ビジネスで 恥をかかない国語学	計 1 名 慶應義塾大学文学部社会学科 卒・エム・エフ・ジー(株)顧問： 1 名	事務局職員 1 名
文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者の変更について なし		

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で 2,272 件、質疑応答は全講座の合計
で 69 件であった(細目は下表)。なお、企業・団体における受講に対しては、
人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告す
るサービスも例年同様に実施した。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均 回数	受けた者の 実人数
(合 計)	1,437	6.2	231
家庭園芸講座	593	9.9	60
自動車講座	350	7.1	49
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	0	0.0	0
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	20	2.5	8
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	211	6.0	35
植物医講座	157	5.2	30
庭師入門講座	35	2.2	16
美術品鑑賞鑑定入門	71	2.2	33

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合 計)	835	1.7	486
レタリング講座	51	0.9	55
A.実践ボールペン字	261	2.7	95
C.トラブル対応力でチャンスに変える	14	1.1	13
D.コーチングで人を動かす	56	1.5	38
E.説得力・交渉力を行使する	28	1.8	16
F.コミュニケーションで自信と信頼を得る	68	1.7	41
G.アサーション表現力で魅了する	15	1.4	11
I.問題解決能力で現状を打破する	11	1.1	10
J.リーダーシップを発揮する	32	0.8	38
K.論理的思考で実現させる	3	0.8	4
L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる	10	0.6	16
M.プレゼンテーションで成功する	4	1.3	3
N.心理学でビジネスの成果を生む	17	1.3	13
O.図解思考がクリアにする	2	0.3	7
P.情報を成果に育てる	8	1.1	7
Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	13	2.6	5
R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法	101	2.2	46
S.誰でもできる時間の超活用法	8	2.0	4
T.誰もが納得、数字の力	13	1.9	7
U.実効性のあるキャリアデザイン	6	2.0	3
V.新・人間関係のビタミン	6	0.9	7
W.強いビジネス組織をつくる	6	1.2	5
X.コンサル型ビジネスの達人になる	9	2.3	4
Y.ビジネスで恥をかかない国語学	93	2.4	38

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合 計)	57	2.2	26
家庭園芸講座	7	1.8	4
自動車講座	29	2.9	10
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	0	0.0	0
ハイキングとカメラ技法講座	0	0.0	0
庭木と果樹の手入れ講座	3	1.5	2
庭の工作物手作り講座	0	0.0	0
写真作品創作塾	11	2.8	4
植物医講座	3	1.5	2
庭師入門講座	1	1.0	1
美術品鑑賞鑑定入門	3	1.0	3

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合 計)	12	1.2	10
レタリング講座	6	1.2	5
A. 実践ボールペン字	0	0.0	0
C. トラブル対応力でチャンスに変える	0	0.0	0
D. コーチングで人を動かす	0	0.0	0
E. 説得力・交渉力を行使する	0	0.0	0
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	0	0.0	0
G. アサーション表現力で魅了する	2	2.0	1
I. 問題解決能力で現状を打破する	0	0.0	0
J. リーダーシップを発揮する	0	0.0	0
K. 論理的思考で実現させる	0	0.0	0
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	0	0.0	0
M. プレゼンテーションで成功する	0	0.0	0
N. 心理学でビジネスの成果を生む	1	1.0	1
O. 図解思考がクリアにする	0	0.0	0
P. 情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	2	1.0	2
S. 誰でもできる時間の超活用法	0	0.0	0
T. 誰もが納得、数字の力	0	0.0	0
U. 実効性のあるキャリアデザイン	0	0.0	0
V. 新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X. コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	1	1.0	1

[4]公 1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条(事業)第1項第(4)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座に関連する、フォトマスター／写真とカメラの実用知識検定(略称：フォトマスター検定)を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

(イ) 試験実施日

令和7年 11月16日・日曜日(通常日程試験)
及び11月17日・月曜日(特別日程試験)
及び11月18日・火曜日(特別日程試験)

(ロ) 試験会場

令和7年度の試験会場設置都道府県は下記の通り。
北海道／宮城県／秋田県／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／石川県／福井県／長野県／静岡県／愛知県／滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／広島県／福岡県／熊本県／沖縄県
以上25都道府県

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は2,469人、受験者数は2,231人、合格者数は1,546人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場(準会場)を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。

受験級	区 分	応募者数	受験者数	合格者数
3 級	個人受験・一般会場	206	178	165
	団体・一般会場受験	32	26	25
	団体・自主会場受験	135	121	82
2 級	個人受験・一般会場	327	287	227
	団体・一般会場受験	37	34	26
	団体・自主会場受験	909	854	710
準1級	個人受験・一般会場	262	221	117
	団体・一般会場受験	19	17	9
	団体・自主会場受験	82	79	25
1 級	個人受験・一般会場	317	285	118
	団体・一般会場受験	32	27	13
	団体・自主会場受験	111	102	29
小 計		2,469	2,231	1,546
EX認定コース	(1ジャンル認定)	12	12	15
	(総合認定)	9	9	4
	(追加総合認定)	1	1	1
小 計		22	22	20
合 計		2,491	2,253	1,566

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象として、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。なお、令和8年度開催をもって本事業は休止とし、令和10年に公1-1と同時に事業廃止申請予定である。そのため、可否通知にて次回にて休止の案内を行った。

階級	一般グループ	業界関連グループ
1 級	写真専攻大学生 優秀レベル	メーカー 営業責任者
	写真専門学校生 優秀レベル	販売店 販売責任者
	メーカー等のスクール指導者	プロラボ／総合ラボ 責任者
		写真館 撮影担当
		アシスタントカメラマン
		専門誌編集者
準 1 級		専門誌ライター
	写真専攻大学生 並レベル	メーカー 営業担当
	写真専門学校生 並レベル	販売店 販売担当
	高校写真部顧問	プロラボ／総合ラボ 従事者
	写真愛好家 歴 10 年以上	技術・営業担当者
2 級	地域のサークルリーダー	
	中学校写真顧問	メーカー 事務従事者
	高校写真部員	ミニラボ オペレーター
	写真愛好家 歴 5 ～ 10 年	写真館 窓口担当
	メーカー等のスクールメンバー	一般紙誌編集者
	地域のサークルメンバー	各種企業広報担当者
	カメラ機械愛好家	デザイナーアシスタント
	カメラ雑誌愛読者	フリー記者・ライター
3 級		マスコミ・ジャーナリスト志望者
	中学写真部員	D P E 窓口担当者
	趣味愛好家 歴 5 年未満	(取次店含む)
	撮影機会の多い一般者	

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとするに努めた。

	氏名等
プロ写真家・ 評論家関係	徳光ゆかり／テラウチマサト／市川泰憲／ 板見浩史／赤松秀夫／枝常伊佐央／大久保晴功
写真・カメラ メーカー技術者 関係	キヤノンマーケティングジャパン(株)：1 名／ (株)タムロン：1 名／(株)シグマ：1 名／ (株)ケンコー・トキナー：1 名／ (株)ニコンイメージングジャパン：1 名／ パナソニック(株)：1 名／富士フイルムイメージングシステムズ(株)：1 名／リコーイメージング(株)：1 名／ (株)市川ソフトラボラトリー：1 名

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1 団体	4 名(各級 1 名)
当法人による表彰	最優秀団体賞 1 団体 優秀団体賞 10 団体	最優秀個人賞 7 名 優秀個人賞 48 名 (各級合計)

[5] 公1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第29回展では、審査により入選以上に該当した1,152点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

出品部門		展示作品数
半切サイズ	フィルム写真部門	19
	デジタル写真部門	681
全紙サイズ	フィルム写真部門	15
	デジタル写真部門	437
合 計		1,152

2. 公募活動

前年度同様、当法人の写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

氏 名	経 歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチマサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

4. 会期、会場、参観者数等

令和7年12月13日から12月19日の会期で、東京都美術館・1階第2～4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は2,686人であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より193名の出品者が参加し、令和7年12月13日午前10時より11時45分の時間帯で浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草3-17-1)において開催した。なお、表彰式の参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名をホームページや全国版写真専門誌に掲載して公表した。

(ロ) 日美展「水墨画部門」

1. 展示点数等

当年度・第8回展では、審査により入選以上に該当した317点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。

出品の部		展示作品数
作家の部	F30号/F20号/F15号	88
一般の部	F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2	181
臨画の部	F10号/F8号/F6号/半切1/2	29
俳画の部	F8号/F6号/色紙	12
無鑑査出品	F50号/F30号/F20号	7
合 計		317

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品（類似の俳画作品を含む）を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に提示した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は以下の委嘱審査員のうち、伊藤 昌/大竹 卓/久山 一枝/根岸 嘉一郎/藤崎 千雲/新恵 美佐子が当番審査員として審査に当たった。
<委嘱審査員> 五十嵐 玉俊(水墨画家)/伊藤 昌(水墨画家)/大竹 卓(水墨画家)/久山 一枝(水墨画家)/小林 東雲(水墨画家)/酒井 祐二(水墨画家)/篠原 貴之(水墨画家)/新恵 美佐子(水墨画家)/千野 曜生(水墨画家)/千葉 玄象(水墨画家)/根岸 嘉一郎(水墨画家)/濱中 応彦(水墨画家)/藤崎 千雲(水墨画家)/松井 陽水(水墨画家)/丸山 東子(水墨画家)/王俊 宇瀨(水墨画家)
※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下により組織した。
河野 元昭(美術史家・「国華」前主幹)/島尾 新(美術史家・「国華」編集委員)/堀江 春美(公益社団法人日本南画院理事長)/品川 恵保(当法人理事長)

4. 会期、会場、参観者数等

令和7年8月7日から8月16日の会期で、国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は6,565名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より62名の出品者が参加し、令和7年8月7日、10時より11時50分の時間帯でANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区赤坂1-12-33）において絵画部門と合同で開催した。なお、表彰式の参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表・販売し、当年度は173部を発行した。

(ハ) 日美展「絵画部門」

1. 展示点数等

当年度・第8回展では、審査により入選以上に該当した919点の作品を展覧会会場（下記4.）に展示して公開した。

出品の部		展示作品数
油絵の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	253
水彩画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	310
パステル画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	34
色鉛筆画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	130
デッサンの部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	30
日本画の部	F30号/F20号/F15号/F10号/F8号/F6号/F4号	46
ちぎり絵の部	F10号/F8号/大色紙	41
絵手紙の部	ハガキ形式/巻き手紙形式	75
合 計		919

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DMなどにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、各部別の審査に当たった。	
油絵の部	板倉 暁(画家)／遊馬 賢一(画家)
水彩画の部	久山 一枝(画家)／青木 美和(画家)
パステル画の部	大枝 隆司郎(画家)
色鉛筆画の部	大枝 隆司郎(画家)／林 佳名(画家)
デッサンの部	久山 一枝(画家)／青木 美和(画家)
日本画の部	山本 真也(画家)／井坂 洋一(画家)
ちぎり絵の部	玉井 祐子(ちぎり絵作家)
絵手紙の部	花城 祐子(絵手紙作家)
※上記の審査員による各部別の審査結果に基づいて、部を横断しての上位優秀作品に授与する賞(全体賞)を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。	
川口 紀美雄(画家)／千足 伸行(広島県立美術館館長)／永井 龍之介(美術鑑定士他)／品川 恵保(当法人理事長)	

4. 会期、会場、参観者数等

令和7年8月7日から8月16日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は8,210名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より172名の出品者が参加し、令和7年8月7日、10時より11時50分の時間帯でANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区赤坂1-12-33)において水墨画部門と合同で開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は393部を発行した。

〔6〕公 1-4：芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

(イ) 軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者はもとより、当法人の美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する展覧会の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、現代日本を代表する日本画家千住博の世界観・宇宙観を表現した。当年は、千住博が 10 年前に高野山奉納絵を描くにあたって、空海の足跡を訪れ、空海が悟りを得たとされる室戸岬の「御厨人窟（みくろど）」を描いた新作をメインとして「ゴギョウセツ-木火土金水-から見る千住芸術の姿」と題して展示を行った。千住は当時、そこは何の変哲もない景色で絵画に出来ないと感じていたという。しかし、空海に少しでも近づくために日々同じ場所をウォーキングし続けていると、その道筋の何の変哲もない木なども、日々の観察を通じて、各々が魅力ある独特のものであることに気づき、「御厨人窟」の景色を何の変哲もないと感じたことは自分の観察眼のなさで、今であれば描けると感じたという。ゴギョウセツ=五行説は古代中国に端を発した哲学思想で「万物は木火土金水の 5 つの元素から成り立ち、それぞれが互いに影響し合う」と説きますが、千住が様々なモチーフを通して描こうとする、千住芸術も同じ世界観であることを、初期作から近作までの 52 点を通じて紹介した。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日(令和 7 年 12 月 26 日から令和 8 年 2 月 28 日の期間は冬期休館)の期間で、開館日数は 272 日、延べ入館者数は下表の通り 59,910 名であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、中学生以下が 2,096 名、障害者が 2,056 名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

入館者区分		入館人数
有料入館者	一般・個人	55,758
入館料免除対象者	中学生以下	2,096
	障害者	2,056
合 計		59,910

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、昨年度の 3 月 27 日から 4 月 21 日までをオリジナル動画「星のふる夜に」の世界展、4 月 24 日から 5 月 15 日までを、「第 10 回『軽井沢追分写真会』写真展」、5 月 18 日～6 月 16 日までを 16 歳の作家三村大悟による「DAIGO MIMURA COSMOS 2025 現代アート展」、6 月 19 日～8 月 13 日までを「星のふる夜に」の世界展(再)、8 月 16 日から 8 月 29 日までを「柳沢正人―浅間三十六景―」展、9 月 1 日から 10 月 6 日までを「小柳典昭 彫刻展」、10 月 9 日から 11 月 24 日までを新作「御厨人窟」がどのようにして完成まで至ったのか、背景を探る「TAO-ゴギョウセツ-」、11 月 27 日から 12 月 25 日までを UWC ISAK JAPAN による「Signs of the Times (時のサイン)」展、本年 3 月 1 日から 3 月 23 日までを長野県上田染谷丘高等学校美術部による「ソメビ観光 2026」展、3 月 26 日から「星のふる夜に」の世界展(再)を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

開催期間	催し内容
令和7年3月27日 ～ 令和7年4月21日	オリジナル動画「星のふる夜に」の世界展
令和7年4月24日 ～ 令和7年5月15日	第10回『軽井沢追分写真会』写真展
令和7年5月18日 ～ 令和7年6月16日	DAIGO MIMURA COSMOS 2025 現代アート展
令和7年6月19日 ～ 令和7年8月13日	オリジナル動画「星のふる夜に」の世界展（再）
令和7年8月16日 ～ 令和7年8月29日	「柳沢正人－浅間三十六景－」展
令和7年9月1日 ～ 令和7年10月6日	小柳典昭 彫刻展
令和7年10月9日 ～ 令和7年11月24日	「TAO-ゴギョウセツ-」
令和7年11月27日 ～ 令和7年12月25日	UWC ISAK JAPAN 作品展 「Signs of the Times (時のサイン)」展
令和8年3月1日 ～ 令和8年3月23日	ソメビ観光2026展
令和8年3月26日 ～ (令和8年5月11日)	オリジナル動画「星のふる夜に」の世界展（再）

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

Acer platanoides 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科)や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールドデン・クラウド' /カバノキ科)などの木本、*Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科)や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科)などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約150種類以上植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し観覧者の啓発、教化に努めている。定期的なメンテナンスを実施し、散策路の安全保持と景観維持に努めた。

(ニ) 令和7年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。コロナ禍や紛争がつづき、世界の色が暗褐色な状況に陥る中、千住画伯は、そのようなときこそ、芸術は希望や新しい景色を見せる必要があると考え、＜滝の裏から世界を見れば、そこは美しい色彩に満ち、希望溢れる世界が広がっている＞ということを滝の絵を通じて描き伝え始めた。それが「ウォーターフォール・オン・カラースシリーズ」であり、その最新作である「ウォーターフォール・オン・カラース白糸の滝」を購入した。

Ⅱ 収 1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

[1]収 1-1：出版

定款第4条(事業)第1項第(3)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：1,355冊、レタリング技能検定関係で3,500冊であった。実販売数は、フォトマスター検定関係は2,488冊、レタリング技能検定関係は3,463部となった。レタリング技能検定関係はほぼ計画通り、フォトマスター検定関係は、新規団体の影響で、見込みを大きく上回った。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容・種類と販売部数
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 (公 1-1) 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 (公 1-1) フォトマスター検定 (公 1-2)	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ① フォト検 過去問題の解答と解説 2～9 / ② フォトマスター検定公式テキスト <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：2,488部 ① フォト検 過去問題の解答と解説 2～9：1,025部 フォトマスター検定公式テキスト：1,463部
レタリング講座 (公 1-1) レタリング技能検定 (収 1-5)	レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集／文字骨格練習帳 <販売部数> 書体サンプル集：2,900部。文字骨格練習帳：563部

[2]収 1-2 : 物品販売

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要な用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する出品資料へのカタログを同封するなどして購入者を募った。

	販売品目と販売点数等
日美展「絵画部門」 関連商品類(公1-3)	<カタログでの販売品目> 油絵用筆類／油絵具類／キャンバス類／画用液／ちぎり絵台紙／和紙セット／水彩画筆／水彩絵具／水彩用紙／色鉛筆／スケッチブック／日本画筆／麻紙ボード／絵手紙セット／顔彩／印／パステル／絵手紙用筆／絵手紙箋／自作を印刷したパネル／自作を印刷したハガキセット等 <同販売点数等> 当年度は、購入者が 460 人、販売商品の延べ販売数が 884 点であった。
日美展「水墨画部門」 関連商品類(公1-3)	<カタログでの販売品目> 毛筆類／墨／練り墨／顔彩／用紙類／印泥／印矩／下敷／紙断包丁／ドーサ塗り用刷毛／ドーサ液／わんぱう／膠液／自作を印刷したパネル／自作を印刷したハガキセット等 <同販売点数等> 当年度は、購入者が 241 人、販売商品の延べ販売数が 529 点であった。
展示館施設関連商品類(公1-4)	<販売品目> ポストカード／オリジナル商品(トートバック／Tシャツ／クリアファイル／チケットホルダー／ポチ袋／マグネット／御朱印帳／手拭い／葉／カレンダー／一筆箋／キーホルダー／ピンバッジ／ミラー／エコペン／レターセット／名刺入れ)／小型複製画／美術館カタログ／美術館 DVD／千住博の各種著作物／カラーリーフガイドブック／美術・建設書籍／セレクト雑貨等 <販売点数等> 当年度は、販売商品の延べ販売点数は 54,401 点であった。

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品(入選以上該当作品)の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を計画した。なお、展覧会における表装は、材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らせめた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
半 切	買取	393
	リース	307
全 紙	買取	297
	リース	155
合 計		1,152
総合写真展の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した		
開催日時：令和 7 年 12 月 13 日 12 時～14 時		
場 所：浅草ビューホテル（東京都台東区）		
参加人数：94 人		

(ロ) 日美展「水墨画部門」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30 号	買取	72
	リース	53
F20 号	買取	47
	リース	28
F15 号	買取	15
	リース	4
F10 号	買取	22
	リース	6
F8 号	買取	30
F6 号	買取	12
半切 1/2	買取	24
色紙	買取	4
合 計		317
開催日時：令和 7 年 8 月 7 日 12 時～14 時		
場 所：ANA インターコンチネンタルホテル（東京都港区）		
参加人数：51 人		

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公 1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30 号	買取	72
	リース	34
F20 号	買取	60
	リース	26
F15 号	買取	57
	リース	27
F10 号	買取	125
	リース	62
F8 号	買取	103
F6 号	買取	141
F4 号	買取	124
大色紙	買取	13
ハガキ形式	買取	56
巻き手紙	買取	19
合 計		919
開催日時：令和 7 年 8 月 7 日 12 時～14 時		
場 所：ANA インターコンチネンタルホテル（東京都港区）		
参加人数：102 人		

[4]収 1-4：貸室

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額 200,000 円(税別)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公 1-4)の建物の一部(床面積 162.13 m²)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5]収 1-5：業務受託等

定款第 4 条(事業)第 1 項第(2)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の開発や学習指導等に寄与、反映させるべく、「レタリング技能検定」の試験業務を主催事業として実施した。なお、「ラジオ・音響技能検定」「デジタル技術検定」は事業を休止している。

(イ) レタリング技能検定

1. 試験実施日

A 日程：令和 7 年 6 月 1 日(日) B 日程：令和 7 年 6 月 7 日(土)

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

(本会場 7、準会場 112、計 119 会場)

3. 受検者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度の結果は下表の通りであった。なお、受検料は、自主会場の団体受検の場合は 10%を、一般会場で受検する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

受 検 級	志願者数	受検者数	合格者数
1 級	45	43	3
2 級	443	431	177
3 級	2,490	2,403	1,417
4 級	741	709	525
合計	3,719	3,586	2,122

4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受検案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受検者を募った。

5. 検定委員等

検定委員は下記の専門家により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／

会社員・文字・書体デザイナー：1名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・

文字・書体デザイナー：1名／

文筆業：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受検または個人受検については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受検に対して	個人受検に対して
文部科学大臣賞	2 団体	2 名
当法人による表彰	17 団体	89 名(各級合計)

〔6〕収 1-6：イベント事業

定款第4条(事業)第1項第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および(6)「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づくイベント事業については、本年は計画をしなかった。

【各事業年度における公益目的事業の実施状況】

・事業の公益性を確保する取組の実績として、不特定多数の利益に寄与するため、会員制度など特定のグループへの利益になるような仕組みは採用せず、誰もが等しく参加できる事業としている。また、美術館では水道光熱費から修繕経費まで様々値上げが継続されているが、入館料は据え置きにしている。

・公益目的事業の質を改善するための自主的な取組として、展覧会では、実行委員長以外はすべて外部の有識者とすることで公平性を確保し、展覧会場入口では英字で入場無料である旨を表示している。また、検定の表彰については、選考基準を設け、公平な表彰を行っている。展示館施設では、日・英・簡体・繁体のリーフレットを準備、券売機においても多言語表示するなど対応を行っている。

【公益法人の運営体制の充実をはかるための取組】

・展覧会や展示館施設など、理事長および常務理事は現地での運営・実施状況を適時直接確認している。

・社外窓口のある通報制度を運用し、コンプライアンスの取組みを強化している。

・「改正労働施策総合推進法、通称：カスハラ防止法」の施行を視野に、ホームページに「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を公表し、美術館においては、「ご来館に際してのお願い」をホームページや券売機スペースに掲示するなど告知を行った。また、職員に対しては、対面講習とオンライン講習を組み合わせ、全従業員へ啓発・研修を行った。

令和 7 年度事業報告 附属明細書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 3 4 条 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 8 年 6 月
公益財団法人国際文化カレッジ